

西洋占星術との違い

そもそも占星術とは何なのか？という説明が抜けていましたが、占星術とは、あるAさんの生まれた時の惑星の配置を見ることによって、そのAさんの性格傾向、行動パターン、過去、現在、未来に起こる出来事などを知ることが出来る学問、技術です。

それで、ジョーティッシュよりも前に、西洋占星術が既に日本に普及しており、よく女性週刊誌やテレビなどで、今週の占いとか、いろいろ、楽しいコンテンツを提供しています。

それらの占いは、当たっているような当たっていないような微妙なところがあると感じたことがないでしょうか。私は、占星術を学習し始めの頃、そのような疑問を感じていましたが、ジョーティッシュを知ってからは、そのような疑問が解消し、ジョーティッシュで作られた私のチャートはまさに私自身のチャートだと、思えるようになりました。

トロピカル方式と、サイデリアル方式

まず、西洋占星術は、出生図の作成においてトロピカル方式を採用し、ジョーティッシュでは、サイデリアル方式を用います。

厳密に言うと、インドでもトロピカル方式を使う流派があつたりしますが、それは例外的なことで、ここで取り上げる必要がないので省略します。

トロピカル方式のチャートと、サイデリアル方式のチャートの違いとは、トロピカル方式では、空に実際に存在し、肉眼で見える星座を用いませぬ。何故かという、トロピカル方式では、春分点(太陽の通り道と、月の通り道の交点)が歳差運動によって、72年に1度(1年で1'弱)移動しているの、西洋占星術では、春分点が牡羊座0°にあるとしているのですが、実際には現在、24度ぐらゐずれてしまひ、魚座の6度付近に位置しています。

ですから、サイデリアルチャートとズレが生じてしまうので、西洋占星術では、星座に代わるサインという概念を用いて、牡羊サインとか、牡牛サイン…と呼びます。

ですから、西洋占星術師が春分点が位置する牡羊座の0°を見上げると、そこは魚座の6°なのです。もし、その牡羊座に惑星の火星が位置していたら、大きな違いがもたらされます。それは後で言及しますが、火星は牡羊座で強い力を発揮します。牡羊座の支配星であり、また牡羊座は闘争的な性質を持ちますので、そうすると、その人はエネルギーにあふれ、喧嘩っ早く、攻撃的であるかもしれません。

然し、もし魚座に位置する火星だったら、それ程、攻撃的ではなく、むしろ、魚座がもつ、優しさや献身性が出てきて、少しソフトになります。

西洋占星術師が、火星を魚座7°付近に見つけた時、それは本当は水瓶座13°付近にあります。春分点の牡羊座0°から現在までにずれてしまった距離をジョーティッシュでは、アヤナムシャと呼びます。

フリーソフト: ジャガナータホラライトでは、このテキストを作成している2008年8月20日現在、 $23^{\circ}58'50.86$
= 約 $23^{\circ}59'$ です。

アヤナムシャにも、いろいろあって、人によって、独自のアヤナムシャを算出していたりしますが、インド暦制定委員長ラヒリが考案したラヒリアヤナムシャは、K.N.RAO氏も推奨するアヤナムシャです。アヤナムシャによってはラヒリと大きくずれるものがあり、あまりずれてしまうと、正確が鑑定が難しくなります。特に出生図を細かく分割して算出する分割図が使えなくなります。

西洋占星術で出た惑星の度数から、このアヤナムシャの値を引くと、本当はどの星座に惑星が在住しているかが分かります。

例えば、乙女座 10° に太陽があるとすると、実際には、獅子座の $17^{\circ}41'$ に位置しています。

$$30^{\circ} - (23^{\circ}59' - 10^{\circ}) = 17^{\circ}41'$$

乙女座と獅子座だとすると、大分、性質が違います。

獅子座は大胆で、勇猛で、プライドが高く、乙女座は、慎ましく、律儀で、控え目です。

全く違う性格になってしまいます。

これが太陽ではなく、ラグナ(生まれた時の東の地平線に上昇する星座)や、月だとすると、性格の違いとしてはっきり出てきます。

私の今までの検証では、サイデリアル方式のチャートの方が、チャートの持ち主の性格をよく表していることを確認しています。

例えば、トロピカル方式だと木星が山羊座 20° 付近に在住している人は、サイデリアル方式だと射手座 26° 付近に在住しています。もし木星が射手座だとすると、射手座の木星は自室にいるため、強力で、教育とか、子供運とか、学識とか、様々な面において、平均以上の幸運に恵まれるはずで、意欲や向上心も強くなります。

しかし、木星がもし山羊座に在住していると、木星は山羊座で減衰して弱くなるため、教育、子供、学識などの木星の持つ象意においての幸運度が低下します。

射手座と山羊座は隣り合う星座同士ですが、トロピカル方式を採用しているか、サイデリアル方式を採用しているかで、木星が在住する星座が変化し、チャートの強弱が大きく変わることになります。

例えば、これはある人の事例ですが、Aさんは、木星が山羊座で減衰しています。

高校時代にラグビーフットボールをやっており、同じ学年の仲間はAさんと同じ、木星が山羊座に在住している人が多かったのです。山羊座に在住すると木星は減衰してしまうので、幸運の惑星である木星の力が普通よりも弱くなります。

Aさんが通っていた高校はラグビーが盛んでよい指導者もいたため、Aさんより一学年上の先輩方は、皆、学区

外から越境入学してくる人がいるほど意欲的な人が多く、また実際、運動能力も高い人が多くいました。この一学年上の先輩方の木星は射手座に在住して強い配置にあったと考えられます。

その木星が射手座に在住する先輩たちの代で、県大会で、競合チームを破ってベスト8に入賞し、シード権を得ました。非常に高い目標に向かって躍進した活気のある学年でした。

しかし、それより一学年下のAさんの学年は、メンバーの中に今まで運動したことがないような人が多く、チームワークもばらばらでそれ程の意欲もなく、先輩の代で獲得したシード権を翌年、あっさり失いました。

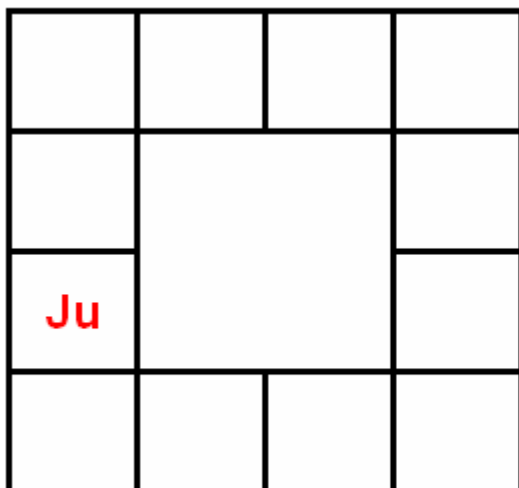
上記の木星の位置はサイデリアル方式によるものですが、こうした事例はサイデリアル方式だと、はっきりと理解できます。

ところが木星が射手座で強いはずの人も、トロピカル方式で出生図を作成すると、木星が射手座6°以上にある場合、木星の位置は、山羊座となり、減衰することになります。

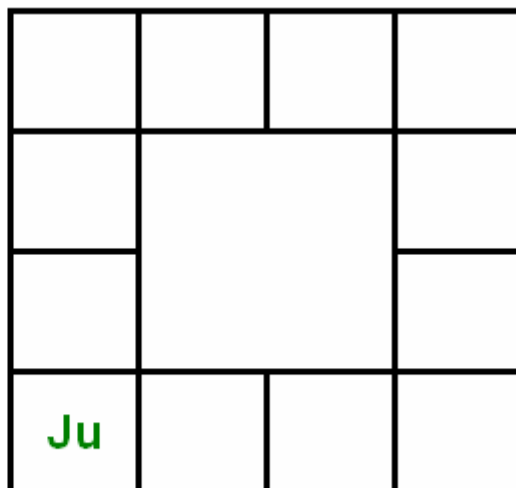
Aさんの一つ上の学年の先輩方は、能力が高く、向上心もあり、実際に県大会でベスト8に入賞するという快挙を成し遂げ、シード権を獲得するという成功を収めたのですが、これらの先輩方の木星は、トロピカル方式でチャート出力すると、山羊座で減衰してしまうのです。

しかし、これは実際の経験から、納得がいかないことになります。

人生で高い目標、野望を達成して、成功していくのは明らかに射手座の象意であるからです。



木星が山羊座で減衰 ⇒ 弱い



木星が射手座でムーラトリコーナ ⇒ 強い

つまり、こうした事例から考えると、トロピカル方式のサインではなく、サイデリアル方式が指すところの実際の星座が重要なのです。トロピカル方式のチャートでは、惑星が在住する星座が実際とずれている為、惑星の強さや星座から受けている性質などを評価することができなくなります。

ハウスシステム

あともう一つ、重要なのが、トロピカル方式を使うと、ハウスシステムが機能しないことです。それは惑星が第何室を支配して、何室に在住しているかと言ったような分析です。

ジョーティッシュでは、星座一つ分をハウスとして区分するイコールハウス方式を使いますが、例えば、7室の支配星が2室に在住していたら、7室は配偶者のハウスで、2室は自分の資産とかお金のハウスのため、配偶者からのお金に恵まれると解釈します。

あるいは1室の支配星が7室に在住していると、自分を表す1室の支配星が7室に在住しているので、常に自分からパートナーにアプローチしていく積極的な人間となり、しばしば人生においてパートナーに頼りすぎる傾向が出てきます。そのような解釈は全てハウスシステムによって可能になります。

ところが、トロピカル方式を使うと、星座とハウスが一对一に対応しない為、ハウスシステムが機能しなくなります。星座とハウスが一对一に対応しない場合、惑星がどのハウスを支配しているかはっきりしないため、支配星としても非常に不明瞭です。惑星がどのハウスを支配しているかが不明瞭なのは、非常に分析において致命的です。

従って、西洋占星術ではハウスシステムを用いない技法が発達しました。

然し、インド占星術で、あらゆる、正確で微細な予言が可能になるのは、このハウスシステムのおかげなのです。